

友達が入力した情報を確認しようとする態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 伊丹市立笹原小学校 中山 貴嗣

本時の目標 ・ペアの友達にインタビューした内容を、タブレットにメモしよう。	校種・学年	小学校・1年
	教科・領域	国語科
	アプリ・ソフト	SchoolTakt
	備考	

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○本時のめあてを確認する。 ◆タブレットに質問したい項目のメモをする。 ともだちにインタビューして、ないようをタブレットにメモしよう。
展開	○ペアの友だちに、インタビューをする。 ○インタビュー内容をタブレットに書き込む。 ◆インタビューされた児童は、自身のインタビュー内容に相違がないか、共同編集モードを使って確かめさせながら活動する。
まとめ	○インタビューした内容について発表を行う。 ◆聞き手は、インタビューを行って感じたこと、新しく知ったこと、驚いたことを発表させることで交流を促す。

育成できる情報活用能力

- ◎文字入力する際、50音表入力ではなく、フリック入力を行うことができる。
- ◎共同編集にて友達が入力した情報について確認することができる。



児童の感想

- ・タブレットに書き込んだ内容がすぐに確認することができ、楽しかったです。
- ・文字入力するのが楽しいです。
- ・タブレットをしながら、文字を打つことは難しかったです。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・ペアでインタビューした内容をタブレット上で確認することで、情報を確認・検討する能力が育成できる。
- ・1人1台端末で入力した情報を瞬時に共有確認することができる。

クラウドを用いた協働作業

HYOGO スクールエバンジェリスト 香美町立村岡小学校 中村 将志

本時の目標 ・自身が経験した「うれしいことば」の出来事を発表し、その時の気持ちや様子を伝えることができる。	校種・学年	小学校・2年
	教科・領域	国語科・うれしいことば
	アプリ・ソフト	・Microsoft Whiteboard
	備考	

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○本時のめあてを確認する。 「うれしいことば」をはっぴょうしよう。 ○ノートに書いた「うれしいことば」を端末で撮影し、ホワイトボードに共有する。 ◆ホワイトボードへ写真を共有する手順が分からない児童には、担任または児童同士で支援し合う。
展開	○ホワイトボードを見ながら、順番に発表する。 ○ホワイトボードに共有された文章を見て、気付いたことを交流する。 ◆各自の端末から気付いたことについて、カラーペンで線を引いたり、囲んだりさせる。
まとめ	○本時の振り返りをする。 ◆ホワイトボードを見ながら、本時の学習をふり返らせる。

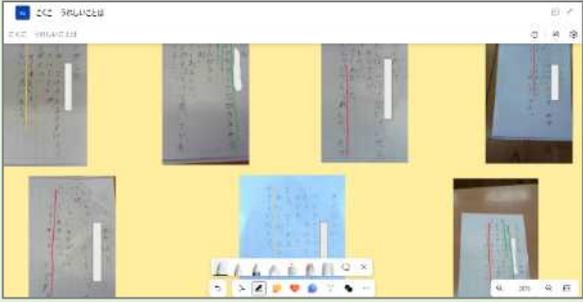
育成できる情報活用能力

◎撮影したデータを共有することで、友だちの文章をいつでも確認することができる。



育成できる情報活用能力

◎ホワイトボードに共有した学級全員の文章を見ながら活動することで、多面的に考えさせることができる。



児童の感想
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなうれしいことばを知ることができました。 ・みんなうれしい気持ちになっていることが分かりました。 ・〇〇さんと同じようなできごとがあったことが分かりました。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・クラウドにデータを共有することで、ともだちの考えをいつでも手元で見ることができ、多面的に考えさせることができる。
- ・簡単な協働作業をするためには、「写真撮影」と「ホワイトボードの使い方」のスキルがあればできることを経験できる。

聞き手とのやりとり等を取り入れ、効果的に表現する

HYOGO スクールエバンジェリスト 芦屋市立宮川小学校 渡辺 大史

<p>本時の目標</p> <p>・自分が作った「音訓かるた」を、「ムーブノート」を使ってクラスに発信することができる。 ・友だちが作った「音訓かるた」の良さを見つけて、「ムーブノート」の拍手👏ボタンやメッセージ機能で伝えることができる。</p>	<p>校種・学年</p> <p>小学校・3年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>国語科・カンジー博士の音訓かるた</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <p>・ムーブノート(ミライシード)</p>
	<p>備考</p> <p>1人1台端末:iPad</p>

○本時の展開

○学習活動 (◆指導上の留意点)	
導入	<p>○前時までに子どもたちが作ったオリジナルの「音訓かるた」をグループで読み合う。</p> <p>◆「遠足」「遠く」といった音訓読みが一文中に使われていることや、五七五のリズムになっていることを確かめる。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 友だちが作った「音訓かるた」の良さを見つけて、伝えよう。 </div> <p>○作った「音訓かるた」を、端末で撮影し、「ムーブノート」上の「みんなの広場」に提出する。</p> <p>○「みんなの広場」に提出された友だちの「音訓かるた」を読み、「良いな」「素敵だな」と思ったら拍手👏ボタンを押したり、メッセージで伝えたりする。</p> <p>◆メッセージを伝える上で大切な、デジタルで情報を発信することの不可逆性や、相手を傷つけるかもしれない危険性に留意させる。</p>
まとめ	<p>○友だちの「音訓かるた」のどのような良さを見つめられたか、また、友だちに自分のかるたの良さを認められてどのような気持ちになったかをふりかえる。</p>

育成できる情報活用能力

◎端末内の写真をムーブノートに提出する活動を通して、クラウド上にファイルを保存したり共有したりする方法を学ぶことができる。

◎拍手👏ボタンやメッセージを送り合う前に、「もし、嫌な言葉が送られてきたらどんな気持ちになるかな?」と考えさせることで、受け手の気持ちを配慮してメッセージを送る大切さについても学ぶことができる。



児童の感想

- ・友だちからたくさん拍手👏がもらえて、とてもうれしかった。
- ・良いメッセージがもらえると、すごくうれしい気持ちになって、自分もメッセージを送り返したくなった。
- ・席が離れた友だちとも、メッセージでやり取りできたのが面白かった。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・写真やメッセージといった情報の発信を行う際の、「一度送ったら取り返しがつかないこと」や「受け手がどのような気持ちになるかを熟慮した上で発信することが大切」といった情報モラルに関する内容について、子どもたちに深く考えさせることができる。

収集した情報を、目的や状況に応じて統計的に分析したり、「シンキングツール」等を組み合わせて活用したりして整理する

HYOGO スクールエバンジェリスト 三田市立ゆりのき台小学校 経広 佑介

本時の目標 ・集めた情報から、提案することや事例を決め、プレゼンテーションに必要な資料を取捨選択し、構成アイデアをつくることができる。	校種・学年	小学校・6年
	教科・領域	国語科・町の幸福論
	アプリ・ソフト	・授業支援ソフト ・ミライシード(オクリンク)
	備考	

○本時の展開

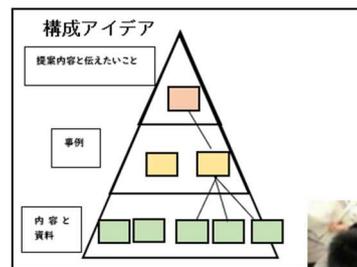
	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○個人が調べている事例について発表し合い、グループでカードを送り合う。 ※ミライシード(オクリンク)送り合い機能 ◆前時までに個人が調べた情報(事例カードと内容や資料カード)を使って発表した後、共有する。
展開	構成アイデアを検討し合い、発表に必要な資料を決めよう ○提案内容と事例が伝えたいことを中心にやっているかグループで検討し、ピラミッドチャートに構成し直す。※ボード機能 ◆スライドに使用するカードと使用しないカードをオクリンクのボード上で分け、取捨選択できるようにする。また、ボード上に書きこみを加え、思考を整理できるようにする。
まとめ	○本時の学びをふり返る。 ◆説得力を増す根拠となる事例や資料を取捨選択してスライド構成アイデアをつくることのできたかどうかについて振り返らせる。

育成できる情報活用能力

◎個人が集めた情報をカードにして送り合い、グループで瞬時に共有することができる。

育成できる情報活用能力

◎集めた情報をもとにして、自分たちの主張(提案内容)に沿った情報かどうかピラミッドチャートに構成して内容を吟味し、情報の取捨選択をすることができる。



児童の感想
・提案にそって取捨選択していったときに、検討ポイントに沿って人と人とのつながりがあるかどうかについて考えることができました。 ・ピラミッドチャート使うと情報が取捨選択しやすくなり、事例が提案に沿っているのわかりやすくなりました。

<情報活用能力の育成とその効果>

・相手に伝わる論理的なスライドを作成する以前の段階として、本時で提案内容と根拠となる事例が妥当かどうかを十分に検討しておいたことで、次時からのグループでのプレゼンづくり(共同編集)にスムーズに取り組むことができた。